

意見聴取会検討項目、スケジュール

意見聴取会検討項目

○各消防本部において策定すべき計画例について「大規模災害発生時における消防本部の効果的な初動活動のあり方検討会報告書」及び「輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書」における提言及び各消防本部における策定例を踏まえ、以下の項目について検討

1 津波時の消防活動計画例について

① 災害対応体制の確立について

【記載事項】

- ・消防署所に大きな被害が生じた場合、早期に移動できる場所において消防機能を維持できる規模、機能を備えた施設等を代替場所として指定
- ・津波の浸水想定区域内に署所がある場合、職員の招集場所を他の署所等に指定
- ・非常招集時における参集ルートについて津波の浸水想定区域を避ける等職員の安全管理の徹底 など

② 大規模災害時の活動方針について

【記載事項】

- ・活動の原則（火災対応の優先、避難場所・避難道路確保の優先、1火災1隊出動、人命優先の原則等）
- ・災害に対する出動の選別の基準（人命優先、住民対応の可否、災害の拡大危険等） など

③ 部隊運用の方策について

【記載事項】

- ・本部運用と署所運用の切替えの判断要素（例：震度5弱以上の場合、本部で消防部隊の集中統制ができない場合 等）
- ・災害種別ごとに出动させる部隊数（例：一般住宅火災はポンプ車1台、危険物施設火災はポンプ車、化学車各1台 等）
- ・部隊の増援を行う場合の判断基準（例：延焼拡大のおそれが高い場合、危険物施設火災において危険物が漏洩している場合 等） など

④ 活動エリアの設定について

【記載事項】

- ・津波浸水想定区域の把握、確認
- ・津波の高さ、警報の種類に応じた活動可能区域の設定 など

⑤ 退路の確認について

【記載事項】

- ・退避ルートの事前設定
- ・津波浸水想定区域に応じた安全退避場所、津波避難ビル等の把握、確認 など

⑥ 安全管理・監視について

【記載事項】

- ・隊員の安全管理に関する装備、資機材等の確認（ヘルメット、PFD（救命胴衣）等）
- ・ドローン、高所監視カメラ、安全監視部隊等を活用した津波監視等 など

⑦ 情報連絡体制について

【記載事項】

- ・津波発生に備えた関係機関からの情報収集体制（都道府県や市町村の災害対策本部における気象庁防災対応支援チーム（JETT）からの説明、気象台とのホットラインを通じた情報、ドローン、海面監視カメラ等の情報等）
- ・警防本部と活動部隊間、活動部隊の隊員間での情報連絡体制
- ・多様な情報通信手段の確保（消防救急デジタル無線、衛星電話等） など

⑧ 活動時間の設定について

【記載事項】

- ・津波浸水想定区域からの退避が基本
- ・津波到達までに一定の時間がある場合の浸水想定区域内で活動可能時間の考え方（活動可能時間＝津波到達予想時刻までの時間－（出動時間＋退避時間＋安全時間））
- ・第1波以降の活動再開についての情報収集、判断基準 など

2 津波時の消防活動計画策定の留意事項

① 地域における津波の特徴、浸水想定区域の状況の把握

【記載事項】

- ・都道府県や市町村の担当部署との連携、気象台などの専門家の意見の把握、反映
- ・ハザードマップ、署所、水利の位置、延焼シミュレーション等を組み合わせたエリア図の作成 など

② 計画策定体制の整備等

【記載事項】

- ・検討会議等を通じた、都道府県や市町村の担当部署、気象台などの専門家など関係者の参画
- ・すでに計画を策定している先進消防本部からの助言等の活用 など

3 遠距離送水計画策定の留意事項

【記載事項】

- ・津波浸水想定区域外にある河川等の自然水利の活用
- ・地域の実情に応じた、河川等の水利指定、中継送水する耐震性貯水槽やプール等の指定、運用車両の必要数と部署位置 など

4 震災時の木造密集地域での活動について勘案した計画策定の留意事項

【記載事項】

- ・必要な消防力の確保及び消防力の効果的な活用（優先的な部隊投入等）
- ・消火栓を使用できない場合を想定した消火活動に必要な消防水利の確保 など

意見聴取会スケジュール

第1回意見聴取会(9月6日)

- 過去の検討会報告書の概要について
- 各消防本部における津波時の消防活動計画について
- 意見聴取会検討項目について

第2回意見聴取会(10月上旬～10月中旬)

- 津波時の浸水想定区域での活動を勘案した消防活動計画例（素案）について
- 遠距離送水計画策定の留意事項について など

第3回意見聴取会以降

- 11月以降：月1回程度、意見聴取会を開催
- 年内目途：計画策定にあたっての留意事項等の通知